Junack

リーフ用ワークランプ取付け要領書

この度は、 Junack 製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。 本書はレディストワークランプの取扱い、 及び取付け作業について記載してあります。 取付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取付けを行って下さい。 本要領書に記載されている分解方法、 イラスト (画像)、 及び作業方法はあくまでも一例です。 車両ごとに脱着方法、 取付け方法が異なりますのでお取付けの際はお車の整備書等をご確認の上車両に適した手順で作業を行って下さい。 また、 本書はなくさないよう大切に保管して下さい。

取付けご担当様へお願い

本書記載の内容・注意事項をよく読み正しくお使い下さい。 本書に記載されていない取付け方法は行わないで下さい。 また、 内容・注意事項をお客様にご確認いただいた上で作業を行うようにして下さい。

お客様へお願い

本書とご購入時の販売証明書 (品名や品番が記載されたレシートや領収書) は大切に保管しておいて下さい。販売証明書の提示がない場合は、 保証修理・交換ができません。

安全に関する表示

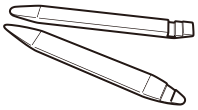
この説明書の中で使用されている記号は、 次のようになっています。

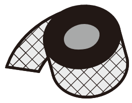
⚠警告 、⚠注意 、注 記 、アドバイスのところは、 とくにしっかりお読み下さい。

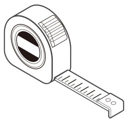
⚠警告	取付け･取扱い方法を誤った、 または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です	注 記	取付け･取扱い方法を誤った、 または守らなかった場合、 物的損害につながるおそれがある内容です。
⚠注意	取付け･取扱い方法を誤った、 または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。	アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

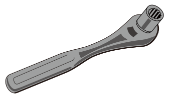
適合車種および適用年式　リーフ 年式 2025 年 10 月～　型式　ZE2 型

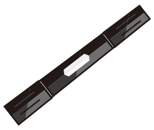
推奨準備工具

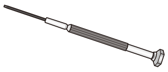

●樹脂ヘラ

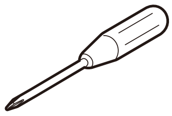

養生テープ


●メジャー

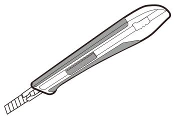

●ソケットレンチ


●マジックペン


●精密ドライバー(-)


●ドライバー

●ハサミ


●カッターナイフ

取付準備作業

1．取付け作業は、 安全な場所に車を駐車させ、 パーキングブレーキを確実に操作して下さい。
2．取付け作業は、 必ずエンジンを停止して行って下さい。
3．取付け作業の前に、 必ずバッテリーの（－）側コードを外して下さい。 また（－）側コードは（＋）側コードと接触しないようにして下さい。
4．構成部品及び部品数量が取付要領書通りになっているか、 また製品が正常に機能するかを確認して下さい。
5．オーディオ等の設定をメモしておくと、 後の調整がスムーズに行えます。

取扱い方法

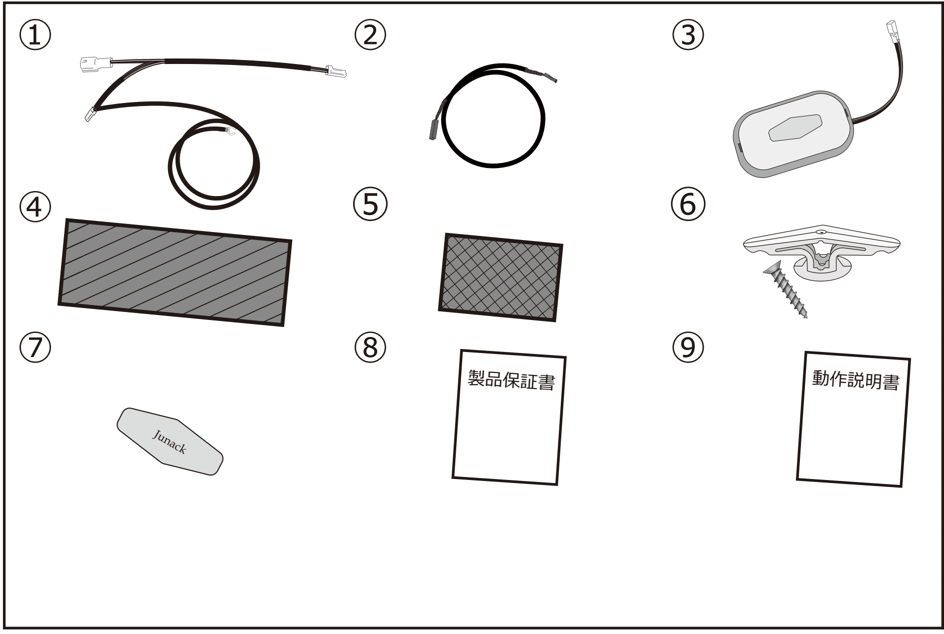
本製品に付いた汚れは、 薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取り、 水拭きにて仕上げて下さい。
長時間放置すると、 汚れが取れにくくなったり、 樹脂部品の劣化の原因になります。
本製品に強い衝撃を与えないで下さい。 故障や破損の原因となります。

注 記

・ワークランプ取付け位置については、 弊社で取付け確認した位置となります。
・車両によってキーレスエントリー等のアンサーバック時、 ルームランプと同様に点灯しますが異常ではありません。
・本製品はＬＥＤのため、 消灯時に車両によっては残照機能により、 点滅することがありますが異常ではありません。

ワークランプ配策イメージ【リヤ】

構成部品



NO.	部品名称	数量
①	電源取出しハーネス	1
②	中間ハーネス	1
③	灯体本体	1
④	クッションテープ	2
⑤	面ファスナー	1
⑥	アンカーボルトセット	1
⑦	化粧シール	1
⑧	製品保証書	1
⑨	動作説明書	1

ワークランプ配策イメージ

クッションテープ

目次

1. 準備作業　・・・・・　4P

2. 車両部品取外し　・・・・・　5P

3. 車両部品加工　・・・・・　6P

４. ランプ組付け　・・・・・　7P

5. ハーネス配策　・・・　8P

6. エッジ保護処理　・・・・・　10P

7. ハーネス処理　・・・・・　11P

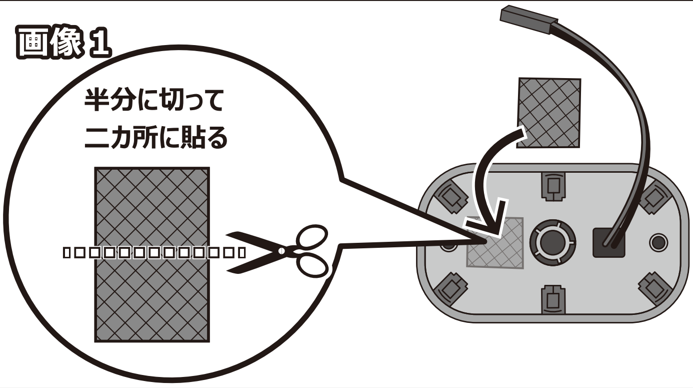
8. 動作チェック・車両復元　・・・・・　12P

準備作業

①面ファスナーをカットし、 灯体本体裏に貼る

付属の面ファスナーを半分に切り、
画像 1 を参考に、 灯体本体の空いている場所に貼ります。

画像 1

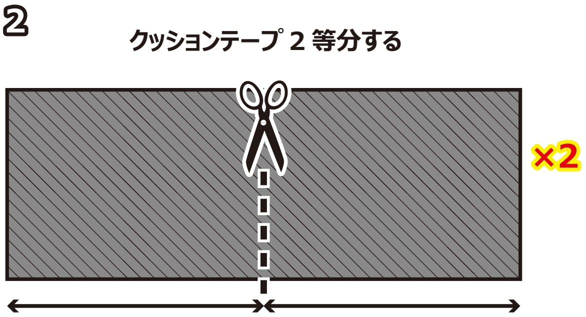


②クッションテープをカットする

画像 2 を参考に、 クッションテープを 2 等分して下さい。

クッションテープ　合計 4 枚

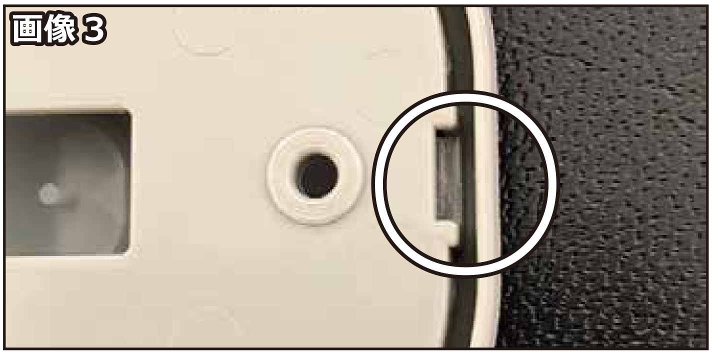
画像 2



③灯体本体のレンズ取外し

灯体本体の裏側、 画像 3 の◯ 印部分を、
画像 3-2 のように精密ドライバー等で
押し込むとレンズが外れます。

画像 3



画像 3-2

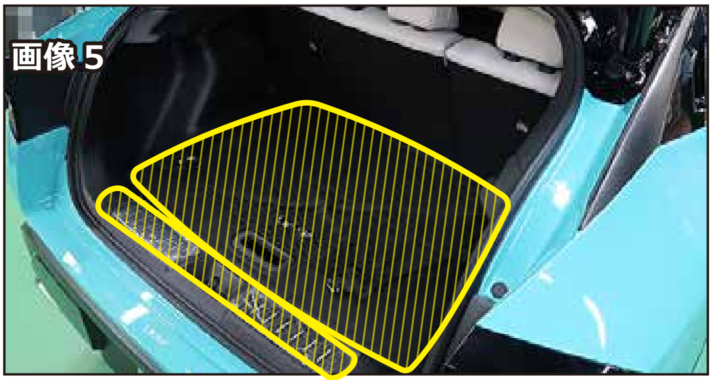
車両部品取外し

④ウェザーストリップを外す

画像４の範囲のウェザーストリップを
車両整備書に基づいて正しい手順で外して下さい。

⑤ラゲッジボード・リヤバンパーカバーを外す

画像５、黄色斜線部のラゲージボードとリヤバンパーカバーを
車両整備書に基づいて正しい手順で外して下さい。



⑥ラゲッジランプユニットを外す

画像６・6-2 を参考に、ラゲッジランプユニットを
車両整備書に基づいて正しい手順で外して下さい。

アドバイス

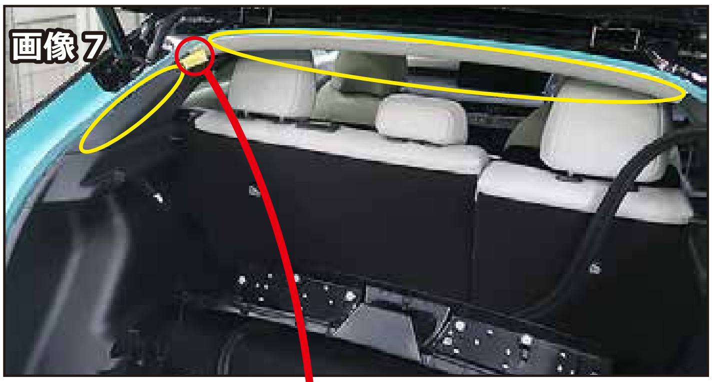
パネルにキズが付かない様、
養生テープ等にて周辺を保護する事をお薦めします。

⑦ C ピラー及びルーフトリムを浮かせる

画像７を参考に、黄色枠線の C ピラーとルーフトリムを
5 ㎝～ 10 ㎝ほど浮かせます。

アドバイス

ルーフトリムにキズを付けない様、
画像７・7-2 ◯ 部分のエッジへ
養生テープにて保護する事を推奨します。



車両部品加工

⑧ルーフトリムに養生テープを張り付ける

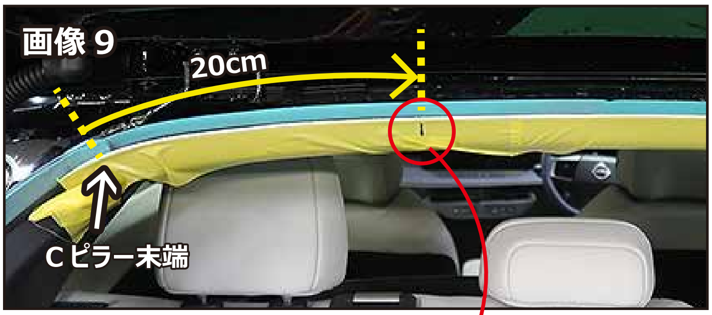
画像 8 を参考にルーフトリムに養生テープを貼り付けて下さい。

注 記

養生テープを貼る際は粘着面を内貼りに強く押し付けないようできるだけ浮かせたり粘着力を落としてから貼るなど、 内貼りに強く密着しすぎないようにして下さい。 剥がす際に内貼りを傷める原因になります。

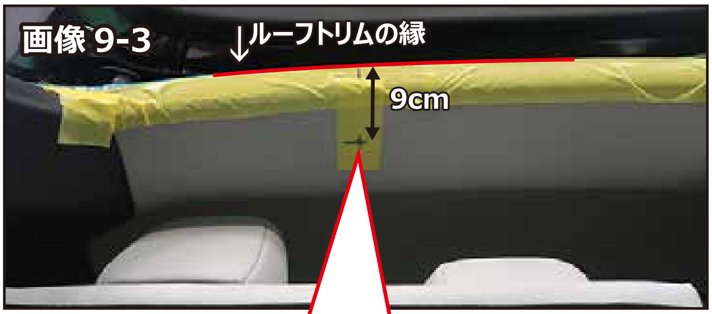
⑨灯体取付位置出し

画像 9 を参考に、 メジャーを使い
C ピラーの端から**ルーフトリム端末に沿って**
20 ㎝の位置にマーキングをします (画像 9 赤丸箇所)。

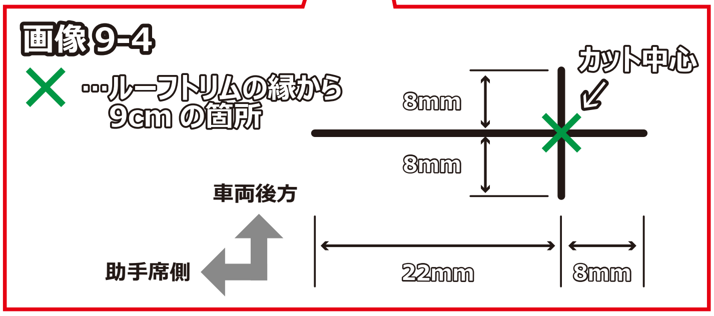


画像 9-2、 緑丸箇所を参考に、
マーキングした箇所から車両前方に向かい
養生テープを貼り付けて下さい。

画像 9-3 のように、 メジャーを使い
画像のマーキング位置から
車両前方向ルーフトリム面沿い 9 ㎝の位置
にカット中心をマーキングします。



画像 9-4 を参考に、 カット中心に十字線を描きます。
この際、 十字線が車両前後軸、
左右軸と並行になるように描いてください。



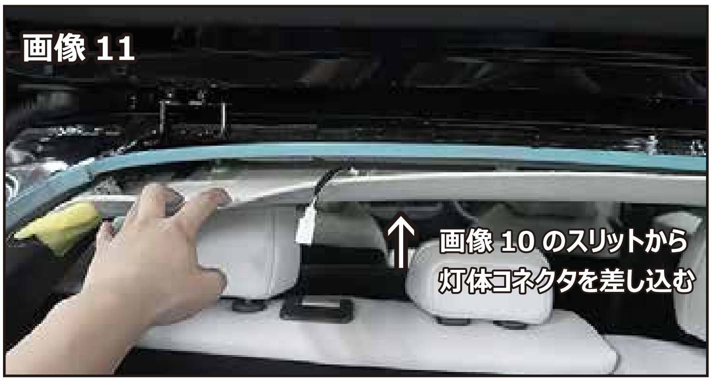
⑩スリット加工

画像 10 を参考に、
上記画像 9-3・9-4 で書いた線に沿って、 スリットを入れます。

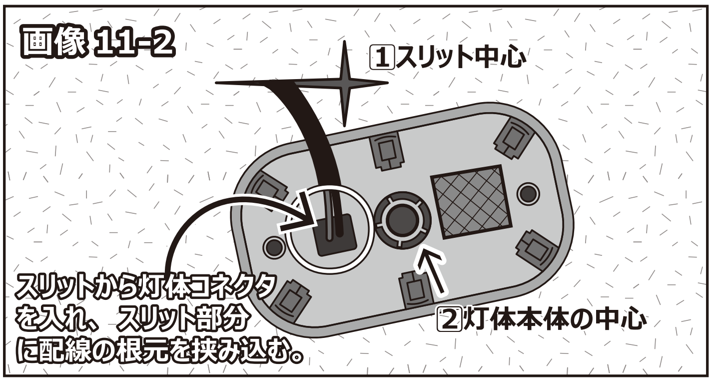
ランプ組付け

⑪灯体本体をルーフトリムへ固定する

スリット中心へ灯体本体のコネクタを入れ込み
画像 11 を参考に、コネクタをルーフトリムから車両後方に
引き出します。



画像 11-2 を参考に「1スリットの交差箇所」と
「2灯体本体の中心」を
合わせるように位置調整しながら、灯体本体の配線を
スリットから内貼り内部へ引き出して下さい。
灯体本体が内貼りに密着するまで
余分な配線を内貼り内部に引き出します。
この時、スリットに灯体本体配線の根元を挟むようにして下さい。



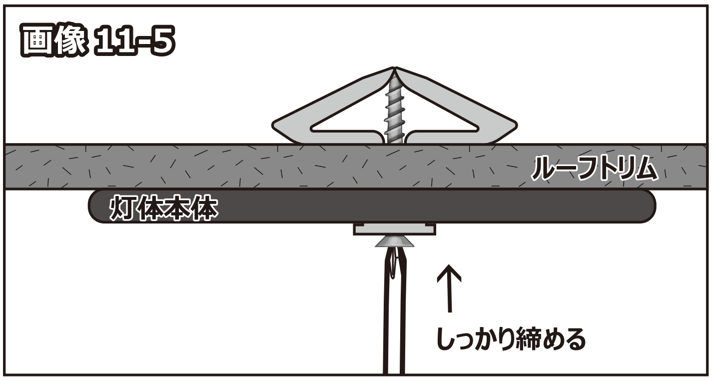
注 記

配線を強く引っ張ると断線等の原因になりますので
適切な箇所を持って引き出して下さい。
基板に直接触らないように注意して下さい。

画像 11-3 を参考に、灯体の中心に
付属のアンカーボルトのアンカーを閉じた状態で奥まで差しこみます。

画像 11-4・11-5 を参考にアンカーボルト用のネジを使用し、
灯体本体をしっかり固定します。

ルーフトリム内部でアンカーがしっかり左右に開いき、
灯体とルーフトリムがしっかりと密着しているか確認して下さい。



ハーネス配策

⑫中間ハーネスと電源取出しハーネスを接続

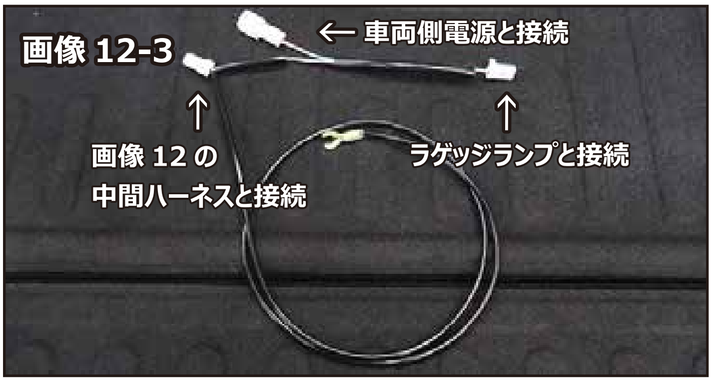
画像 12 を参考に、◯ 印部分にある
灯体ハーネスのコネクタへ中間ハーネスを接続して下さい。

画像 12

上記で接続したコネクタ部分に
カットしたクッションテープを貼り付けます。
画像 12-2 を参考に、 コネクタ接続部分を覆うように巻き付け、
外れないようにしっかり圧着して下さい。

画像 12-2

画像 12-3 参考に、 電源取出しコネクタを
・ラゲッジランプ
・車両側電源
と接続します。



画像 12-3

画像 12-4 を参考に、◯ 印の車両側電源コネクタと
電源取り出しコネクタ接続部に、
ウレタンクッションテープを巻き付け、 外れないように圧着します

C 型端子をラゲッジランプユニット穴より
黄色矢印の方向に車両外側へ引き出し、
ラゲッジランプユニットを復元します
(画像 12-5)

画像 12-4

画像 12-5 ◯ 印部分を参考に、 電源取り出しコネクタを
灯体本体と接続された中間ハーネスに接続し、
接続部分が外れないようにクッションテープを巻きつけ圧着します。

画像 12-5

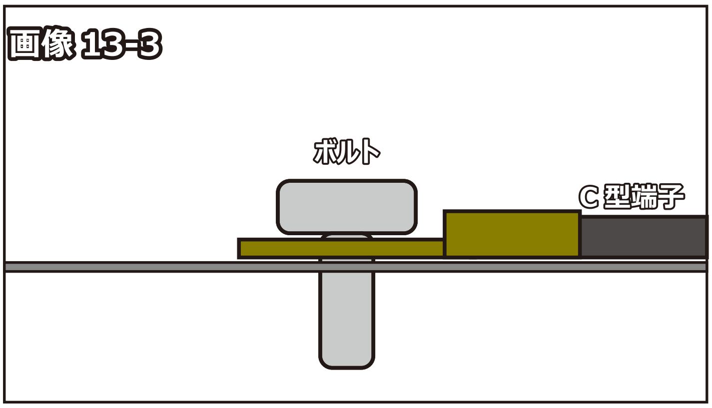
⑬アースを接続する。

電源取出しハーネスのＣ型端子を車体に固定します。

画像 13-2 ◯ 印部分のボルトを緩め、
Ｃ型端子を共締めしてください。
この際、Ｃ型端子の向きに注意してください。

注　記

Ｃ型端子は平坦部がパネル側になるように
取付けを行います。（画像 13-3）
Ｃ型端子の向きを間違えるとボルトのゆるみ、
接触不良の原因となります。



エッジ保護処理

⑭配策ルートのエッジの処理をする

画像 14 ◯ 印箇所内部にあるエッジを
養生テープで保護します。

画像 14-2・14-3 を参考に、
パネルエッジ部に養生テープを貼り付けます。

ハーネス処理

⑮ハーネスを収納する

画像 15 赤枠部分に接続したハーネス類を

灯体本体側から収めます。

この時、 画像 15-2・15-3 の ◯ 印部分にある
クッション材やクリップより奥側にハーネス類を収めるように
して下さい。

ハーネスの余長は画像 15-4 の位置で、
カットしたクッションテープで 15cm 程度に束ね、
同じようにパネル内部に収めて下さい。

注 記

内貼りパネルを戻したときに過度な負荷がかからないよう、
空いているスペースに収めて下さい。
特にクリップ部はハーネスを挟み込まないよう十分に
注意してください。 ハーネスの断線や、 トリム部品の破損、
勘合不良の原因になります。

動作チェック・車両復元

⑯クリップで固定

ワークランプレンズを装着します。
画像 16 の ◯ 印部分にある
ハウジングの切り欠きに合わせて押し込み、 固定して下さい。

⚠ 注意

基板ユニットには触れないようにして下さい。
破損の原因になります。

画像 16

画像 16-2 を参考に、
付属の文字の向きを合わせ
化粧シールを貼付けて下さい。

画像 16-2

⑰動作チェックと復元

画像 17 の図を参考に動作確認を行って下さい。
また、 車両すべての動作・機能が問題なく
動作することを確認します。

画像 17

ラゲッジランプ	ワークランプ	ワークランプスイッチ
点灯	点灯	点灯 / 消灯
消灯	消灯	点灯 / 消灯

ワークランプはルームランプに連動し点消灯します。
また、 レンズを軽く押すと点灯 / 消灯できます。
取外したウェザーストリップ・車両部品等を車両整備書に従って
すべて正しく復元します。

灯体本体の点灯および動作チェックをして下さい。
車両すべての動作・機能が問題なく動作することを確認できたら
終了です。

画像 17-2